



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ  
コード番号 9791 URL <https://www.bikentechno.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶山 龍誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神月 義行

TEL 06-6380-2141

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,637	6.6	1,536	20.7	1,772	12.3	1,143	6.2
2022年3月期第3四半期	24,050	0.8	1,272	138.2	1,578	103.8	1,076	144.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,143百万円 (9.2%) 2022年3月期第3四半期 1,047百万円 (142.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	151.58	
2022年3月期第3四半期	142.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	38,430	19,265	50.1	2,553.89
2022年3月期	39,718	18,292	46.1	2,424.91

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 19,265百万円 2022年3月期 18,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		10.00	20.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	9.9	2,000	41.5	2,100	4.3	1,300	4.2	172.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	7,718,722 株	2022年3月期	7,718,722 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	174,966 株	2022年3月期	174,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	7,543,756 株	2022年3月期3Q	7,543,795 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.311「当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の第八波は続いているとはいえウイズコロナの経済活動が定着化しつつあり、業績の回復が見られてきています。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻や円安による輸入コスト上昇も相まって物価高騰が急激であること、また、人件費も上昇しつつあり、今後の収益環境への影響はかなり厳しいものが想定されます。

このような状況下、当社グループにおいては、コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業やフランチャイズ事業について、段階的ではありますが回復しつつあります。更に、物流施設関連のメンテナンス業務の受注や、お客様の事業形態の変化による事務所移転・集約に伴う原状回復工事等の受注が、コロナ禍前を上回る状況にあります。不動産事業においては大口の不動産売却が成立し、案件売上は前年同期に及びませんでしたが、事業利益については大きく上回りました。以上の要因から、前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,637百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益は1,772百万円（前年同期比12.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,143百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### ① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業では、コロナ禍が続いているとはいえウイズコロナの経済活動が定着化しつつあり、物流施設関連のメンテナンス業務の受注増、お客様の事業形態の変化による事務所移転・集約に伴う原状回復工事等の受注増、コロナ禍における除菌作業等の受注増、後ろ倒しになっていた業務の取込等により、前年同期と比較して売上高、セグメント利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,407百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は2,598百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

#### ② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第3四半期連結累計期間においても大口の不動産売却が成立し、前年同期の不動産売却と比較して売上規模においては及びませんでしたが、利益面では上回ることとなりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,276百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は631百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

#### ③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。各施設とも引き続き、コロナ禍の感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていることから稼働率回復に時間を要しており、前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント損失も増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は679百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント損失は61百万円（前年同期は51百万円のセグメント損失）となりました。

#### ④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、ツタヤ、銀座に志かわ等の店舗展開を行っております。コロナ禍が続いてはいますが業績は段階的に回復し、前年同期と比較してセグメント売上が増加しセグメント損失も縮小しましたが、黒字化までには至りませんでした。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は730百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント損失は34百万円（前年同期は60百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑤ ホテル事業

ホテル事業では、東京と沖縄で合計3棟のホテルを運営しております。コロナ禍の中で大きな影響を受けていたホテル事業は、ウイズコロナが進む中で段階的に回復していましたが、12月中旬以降は全国旅行支援の利用の浸透等により急速な回復が進んでいます。業績回復により、前年同期と比較して売上高が増加し、セグメント損失が抑えられることとなりましたが、現段階ではその効果の期間が短いため、黒字化には至りませんでした。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は291百万円（前年同期比107.0%増）、セグメント損失は109百万円（前年同期は207百万円のセグメント損失）となりました。

#### ⑥ その他事業

その他事業では、フードコート運営事業、太陽光発電事業、当社の営業活動のネットワークを生かした関連商品の販売事業等を行っております。フードコート運営事業において客足の増加がみられ前年同期と比較して売上高は増加いたしました。まずは売上の回復から取り組んだこともあり、セグメント損失を計上することとなりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は252百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント損失は20百万円（前年同期は7百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の「2022年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,174,753	7,105,536
受取手形、売掛金及び契約資産	4,235,907	3,570,278
商品及び製品	72,567	85,788
販売用不動産	5,990,354	5,640,793
未成工事支出金	16,127	94,284
原材料及び貯蔵品	34,062	40,190
その他	1,150,205	988,668
貸倒引当金	△80,840	△76,424
流動資産合計	18,593,137	17,449,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,359,732	5,242,828
土地	9,663,421	9,753,912
その他（純額）	611,549	588,165
有形固定資産合計	15,634,704	15,584,906
無形固定資産		
のれん	814,553	758,644
その他	187,475	187,254
無形固定資産合計	1,002,029	945,899
投資その他の資産		
その他	4,971,011	4,933,179
貸倒引当金	△482,000	△483,000
投資その他の資産合計	4,489,011	4,450,179
固定資産合計	21,125,744	20,980,985
資産合計	39,718,881	38,430,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,147,013	2,050,988
短期借入金	3,200,000	2,370,000
1年内返済予定の長期借入金	2,910,666	2,839,039
未払法人税等	584,942	238,919
賞与引当金	360,304	152,204
その他	3,023,959	3,271,612
流動負債合計	12,226,886	10,922,763
固定負債		
長期借入金	7,303,250	6,424,088
役員退職慰労引当金	230,969	234,450
退職給付に係る負債	436,894	439,672
資産除去債務	102,521	110,763
その他	1,125,435	1,032,406
固定負債合計	9,199,071	8,241,381
負債合計	21,425,957	19,164,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,692,778	1,672,968
利益剰余金	14,807,390	15,799,983
自己株式	△78,566	△78,566
株主資本合計	18,230,402	19,203,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,695	191,088
為替換算調整勘定	△125,267	△164,425
退職給付に係る調整累計額	36,092	36,107
その他の包括利益累計額合計	62,521	62,769
非支配株主持分	—	—
純資産合計	18,292,923	19,265,956
負債純資産合計	39,718,881	38,430,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	24,050,061	25,637,824
売上原価	19,018,873	20,074,575
売上総利益	5,031,187	5,563,249
販売費及び一般管理費	3,758,209	4,026,416
営業利益	1,272,977	1,536,833
営業外収益		
受取利息	27,732	32,737
受取配当金	5,695	22,688
受取賃貸料	24,771	24,584
受取補償金	56,326	540
助成金収入	146,354	50,857
持分法による投資利益	41,896	29,358
為替差益	24,807	84,287
その他	62,359	56,943
営業外収益合計	389,942	301,997
営業外費用		
支払利息	50,175	49,590
支払手数料	18,036	16,485
貸倒引当金繰入額	7,811	—
その他	8,824	586
営業外費用合計	84,849	66,663
経常利益	1,578,070	1,772,167
特別利益		
固定資産売却益	15,668	9,712
投資有価証券売却益	68,490	—
特別利益合計	84,159	9,712
特別損失		
固定資産売却損	—	3,548
固定資産除却損	—	4,794
関係会社株式評価損	4,539	—
特別損失合計	4,539	8,342
税金等調整前四半期純利益	1,657,690	1,773,536
法人税、住民税及び事業税	488,384	538,540
法人税等調整額	92,337	91,485
法人税等合計	580,722	630,026
四半期純利益	1,076,967	1,143,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,076,967	1,143,510



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,076,967	1,143,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,883	39,392
為替換算調整勘定	△9,688	△39,158
退職給付に係る調整額	4,250	14
その他の包括利益合計	△29,320	248
四半期包括利益	1,047,646	1,143,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,047,646	1,143,759
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。